

## はじめに

### 地域と学校が共に楽しく・学び合い・伝え合い・支え合えるまちづくり

桜井まちづくり員会「文化・教育部会」では、桜井地区11の諸団体と3自治会の代表で構成されています。今年度は新たにメンバーが入れ替わり、組織も変更されたことから部会の取り組み内容について再度検討した結果、各団体で取り組んでいる内容について知らないことが多く、「月暦」の形でよりわかりやすく取りまとめることになりました。

そこで、地域や学校で「尊徳先生の教えが生きているまち」を受けてどのような行事や授業が行われ、世代間交流が行われているかを4つの視点でまとめてみました。

- ① 文化の継承をと発展を目指す地域の行事（地域主体の行事）
- ② 子供の成長を願う地域と学校関係の行事（地域・保護者が支援する学校、子ども会行事）
- ③ 尊徳の教えを学ぶ学校と地域の取り組み（学校の尊徳学習に地域が支援する取り組み）
- ④ 昔の桜井地区の行事の様子（伝え残しておきたい昔の様子）

地域の行事や学校の体験活動の中で楽しく・学び合い・伝え合い・そして支え合える金次郎さんがいてもいいのではないかと思います。大人も子供もみんな楽しく明るく元気に行事に参加して、明日への元気と勇気をもって笑顔で過ごせる桜井にできたら幸いです。

最後に『さくらい ふれあいの月暦』の編集と発行についてご協力していただいた学校関係、並びに地域諸団体、そして『子供時代における・東栢山部落の民族的行事』の資料を提供いただきました高井喜雄様のご家族様に感謝申し上げます。

平成31年3月1日  
桜井まちづくり委員会  
文化・教育部会長 鋌持 賢三

#### 高井喜雄さん 明治37年生まれ

東栢山の農村で育ち、師範学校卒業後は市内の小学校に勤務。明治・大正・昭和・平成の激動の時代を生きた。今は失われてしまった素朴で古き良き時代のふるさと栢山の風俗を後世に伝えたいと考え、冊子『子供時代における・東栢山部落の民族的行事』にまとめる。

今に生きる私たちにとって、100年前の桜井地区の様子を知ることは貴重な経験ではないでしょうか。なお、高井さんは平成7年2月に90歳で逝去されています。

## 「さくらい ふれあいの月暦」発行に寄せて

### 価値観が多様化する現代社会において地域交流を深めるきっかけに

平成30年5月の臨時総会にて各団体連絡協議会が発展解消し、桜井まちづくり委員会として4部会（文化教育・防犯・福祉健康・広報）、2連絡会（防災・環境美化）が発足しました。

桜井地区は二宮金次郎の生誕の地「尊徳先生の教えが生きているまち」として、小中学校はもとより地域全体で尊徳学習に取り組んでまいりました。平成30年10月、小田原で開催された全国報徳サミットに合わせ、「地上の星 二宮金次郎伝」の映画も完成し、益々、尊徳先生の教えを学ぶ機運が高まるものと思われまます。

そのような中であって、この度、文化・教育部会が部会活動の一環として、金次郎の教えをベースに桜井地区の伝統、風習、諸団体の行事を月暦として纏める活動を実施して頂いた事は感謝の次第であります。

近年、桜井地区も開発が進み、価値観が多様化する中で地域における連帯感が薄れ、近助や共助の考えや機能が低下しつつある中であって、この月暦を参考にして、より多くの方が地域交流を深めて頂ければ幸いです。

結びに、この冊子編集に携われた鋌持部会長、小木副部会長をはじめ部会員の皆さまに御礼を申し上げます。

平成31年3月1日  
桜井まちづくり委員会  
委員長 下田 成一

#### 《曾比・栢山地区の人口・世帯数》

平成31年度3月1日現在	人口12,921人	世帯数5,210世帯
昭和57年度	人口 6,580人	戸数 1,850軒
明治末期(栢山村)	人口 400人	戸数 80軒